

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成28年8月25日(2016.8.25)

【公開番号】特開2016-11179(P2016-11179A)

【公開日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-005

【出願番号】特願2014-132878(P2014-132878)

【国際特許分類】

B 6 6 B 5/18 (2006.01)

B 6 6 B 7/04 (2006.01)

【F I】

B 6 6 B 5/18 Z

B 6 6 B 7/04 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月11日(2016.7.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

昇降路内を上下方向に走行する乗かごと、前記昇降路内に立設され、前記乗かごを上下方向に案内するガイドレールと、前記乗かごに設置され、前記ガイドレールに摺接する摺動材を有するガイド部とを備えたエレベータに設けられ、前記乗かごの戸が開状態に保たれているときの前記乗かごの走行を防止する戸開走行防止装置において、

前記ガイドレールに当接して前記乗かごを制動する制動部を備え、

前記制動部を前記ガイド部に設けたことを特徴とする戸開走行防止装置。

【請求項2】

請求項1に記載の戸開走行防止装置において、

前記制動部は、前記乗かごの各階停止中に前記ガイドレールの前記摺動材の表面から突出し、前記ガイドレールに当接する当接部を有し、前記乗かごの走行中は、前記当接部を前記ガイド部の前記摺動材の表面から突出させないように保つことを特徴とする戸開走行防止装置。

【請求項3】

請求項2に記載の戸開走行防止装置において、

前記制動部の前記摺動材は、前記制動部の前記当接部の移動を許容させる貫通穴部を有することを特徴とする戸開走行防止装置。

【請求項4】

請求項2に記載の戸開走行防止装置において、

前記制動部の前記当接部の前記ガイドレールに対向する面部に、前記ガイドレールとの間の摩擦力を増強する摩擦力増強部を備えたことを特徴とする戸開走行防止装置。

【請求項5】

請求項2～4のいずれか1項に記載の戸開走行防止装置において、

前記ガイドレールは、前記ガイド部の前記摺動材が摺接するレール部と、このレール部に連設され、前記昇降路内の所定部位に固定される固定部とを有し、

前記制動部の前記当接部を、前記ガイドレールの前記レール部に当接可能に設けたことを特徴とする戸開走行防止装置。